

NET 2kg
粉状

●特徴と効果

Mリンカリンはリン酸の吸収を高める資材で、過リン酸石灰に反応する特異性のある酵素微生物資材である。

作物生長に必要不可欠な5大栄養素（窒素・リン酸・加里・マグネシウム・カルシウム）の中で、リン酸は窒素や加里に比べ極端に作物への吸収が悪い。

これは、リン酸が土壤中に存

在する金属成分と結合（固定化）し、難溶性となり成分の殆どが作物に吸収されないからだ。

過リン酸石灰をMリンカリンで発酵させると効率良く即効的にリン酸の吸収率を高める事が出来る。また、過リン酸石灰中のカルシウムの肥効も高まる為、より優れた肥効のカルシウム肥料となる。

●使用方法

Mリンカリンと原材料（過リン酸石灰・塩化加里・米ヌカ）を混合し、一定期間以上常温発酵させる事で、リン酸の肥効が高まった発酵リン酸肥料「MリンPK」となる。

また、苦土要求量の高い作物や苦土欠乏の可能性のある圃場

では、硫酸苦土と一緒に混ぜる事も出来る。

（配合方法は表1）

●発酵期間

混合した材料の熟成期間は、積算温度で20～30℃以上の常温発酵期間が必要だ。（日中の平均気温が10℃の場合、20～30日間）夏は短時間で発酵ができるが、冬は気温が低く発酵に時間がかかる為、使用時期を考慮して混合発酵して頂きたい。

長期間（1年以上）ゆっくりと寝かせるほどリン酸の肥効は驚くほど高まるので、余裕をもって混合発酵させ、場合によっては1度に数年分を混合し作る事をお勧めする。

●ポイント

◆Mリンカリンで配合した「MリンPK」は発酵熟成を進める為には酸素が必要になる。しかし、切り返す必要はなく通常、混合後は、過リン酸石灰や塩化加里が入っていた空袋に戻し、口を密閉せず（ひも等で縛るのは良い）雨の浸入や直射日光の当たらない場所で保管する。

◆加里要求量の多い作物で使う場合、塩化加里を20〜30kgに増量、加里過剰の圃場では、5kgに減量する。食味向上や果樹などマグネシウムの肥効を高めた場合、硫酸苦土を10〜30kg混合する。

<表 1 配合方法と配合割合>

原料 (1セット当り)	標準型 10:1	加里増強型 5:1	加里減少型 20:1	苦土配合型	
Mリンカリ	2kg(1袋)	2kg(1袋)	2kg(1袋)	2kg(1袋)	
過リン酸石灰 (粒状又は粉状)	100kg	100kg	100kg	100kg	
塩化加里(粒状又は粉状)	10kg	20kg	5kg	10kg	
米ヌカ	5kg	5kg	5kg	5kg	
硫酸苦土	—	—	—	20kg	
MリンPKの合計量	117kg	127kg	112kg	137kg	
成分値 (理論 値) %	リン酸全量	15.0	13.7	15.6	12.7
	水溶性リン酸	12.4	11.4	12.9	10.6
	加里全量	5.1	9.4	2.8	4.3
	苦土全量	—	—	—	3.6

- ①上記原料を混合する。(量の少ないものから混合するとムラなく混ぜる事ができます)
 ②混合した物は、空袋(通気性のある袋の方がよい)に入れて保存する。
 ③積算温度で200℃以上、常温発酵(熟成)する。<粒状過石では、300℃以上>
 ※積算温度=平均気温×日数(夏期は10日以上、冬期は30日以上に熟成してから、施肥する)
 ※長期間熟成(一年以上)したMリンPKの方が、肥効は高くなる

- (1)標準型・・・一般的な配合方法
 (2)加里増強型・・・ネギ類、根菜類、葉菜類などの「加里成分を欲しがる作物用」に使う場合
 (3)加里減少型・・・蓄糞尿多用圃場や加里過剰の圃場(ハウス等)に使う場合
 (4)苦土配合型・・・果実の肥大期や食味(糖度促進)向上の目的で使う場合

※上記成分値は

リン酸は過リン酸石灰(成分含量 可溶性リン酸17.5%、水溶性リン酸14.5%)
 加里は塩化加里(成分含量 水溶性加里60.0%)
 苦土は硫酸苦土(成分含量 水溶性苦土25%)を使用した場合の数値